

平成28年度 資格スクール大栄
第144回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ①

商 業 簿 記

決算整理後残高試算表

平成X8年3月31日

(単位：千円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現 金 預 金	○ 14,936	支 払 手 形	○ 13,050
受 取 手 形	13,984	買 掛 金	○ 50,845
売 掛 金	○ 28,316	未 払 金	450
売 買 目 的 有 価 証 券	10,357	未 払 費 用	226
繰 越 商 品	○ 3,335	短 期 借 入 金	1,700
積 送 品	○ 4,596	貸 倒 引 当 金	846
前 払 費 用	690	建 物 減 価 償 却 累 計 額	○ 75,200
未 収 収 益	408	備 品 減 価 償 却 累 計 額	○ 811
(為 替 予 約)	○ 675	車 両 減 価 償 却 累 計 額	○ 4,625
建 物	○ 120,000	資 本 金	○ 95,625
備 品	900	資 本 準 備 金	3,425
車 両	8,000	利 益 準 備 金	1,200
土 地	45,000	別 途 積 立 金	1,100
満 期 保 有 目 的 債 券	○ 2,132	繰 越 利 益 剰 余 金	960
関 連 会 社 株 式	2,725	新 株 予 約 券	1,400
長 期 貸 付 金	35,000	一 般 売 上	○ 153,340
仕 入	○ 111,884	積 送 品 売 上	○ 23,976
販 売 費	○ 1,956	受 取 利 息	○ 638
一 般 管 理 費	1,210	有 価 証 券 利 息	○ 86
株 式 報 酬 費 用	○ 280	有 価 証 券 運 用 益	○ 1,785
棚 卸 減 耗 費	510	受 取 配 当 金	58
商 品 評 価 損	○ 575	固 定 資 産 売 却 益	122
貸 倒 引 当 金 繰 入	○ 798		
減 価 償 却 費	4,414		
修 繕 費	15,000		
為 替 差 損	○ 657		
関 係 会 社 株 式 評 価 損	○ 3,095		
支 払 利 息	35		
	431,468		431,468

○1につき1点 合計25点
(配点は、当学院の予想です)

平成28年度 資格スクール大栄
第144回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ②

会 計 学

第1問

(a)	(b)	(c)	(d)
○ 23,750	○ 89,750	○ 57,750	○ 19,200
(e)	(f)	(g)	(h)
○ 9,000	○ 加算	○ 12,150	○ 2,700
(i)	(j)	(k)	
○ 誤謬	○ 4,000	○ 4,500	

○1につき1点 合計11点
(配点は、当学院の予想です)

第2問

問1 (20X2年度)

(単位：千円)

のれん	利益剰余金	その他包括利益累計額	非支配株主持分
○ 96,000	○ 444,000	○ 98,000	○ 364,000

問2

連結貸借対照表

(20X3年度)

平成X8年3月31日

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
当 座 資 産	○ 1,065,000	流 動 負 債	○ 575,000
棚 卸 資 産	○ 622,000	固 定 負 債	1,200,000
減 価 償 却 資 産	1,200,000	資 本 金	○ 1,500,000
土 地	○ 750,000	資 本 剰 余 金	○ 238,000
の れ ん	○ 84,000	利 益 剰 余 金	○ 524,000
投 資 有 価 証 券	610,000	その他包括利益累計額	○ 106,000
		非 支 配 株 主 持 分	○ 188,000
	4,331,000		4,331,000

○1につき1点 14点
(配点は、当学院の予想です)

平成28年度 資格スクール大栄
第144回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ③

工業簿記

第1問

① 購買部門	② 材料受入価格
③ 材料消費価格	④ 原価
⑤ 標準	⑥ 記帳の簡略化・迅速化
⑦ 実際	⑧ 製品

予想配点 ①～⑧ 各1点

第2問

問1

(1)仕掛品勘定の借方合計 266,875 千円
(2)月末仕掛品原価 16,875 千円

問2

材料受入価格差異	材料数量差異	労働賃率差異	労働時間差異
37,910 千円 (借方 貸方)	1,750 千円 (借方 貸方)	318 千円 (借方 貸方)	37.5 千円 (借方 貸方)

予算差異	変動費能率差異	固定費能率差異	不働能力差異
501.5 千円 (借方 貸方)	50 千円 (借方 貸方)	37.5 千円 (借方 貸方)	600 千円 (借方 貸方)

(注) () 内の差異は、「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問3

② ④

予想配点 問1 各3点
 問2 各1点
 問3 すべて正解で3点

平成28年度 資格スクール大栄
第144回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ④

原 価 計 算

第1問

問1 %

問2 円

問3 %

問4 %

問5 円

問6	①	②	③	④	⑤
	○	○	×	×	×

予想配点 問1～問5 各2点
問6 各1点

第2問

①	埋没原価	予算原価	差額原価	現価
②	700,000			
③	1,200,000			
④	500,000			
⑤	単純市価	全部製造原価加算	変動製造原価	市場差引
⑥	700,000			

予想配点 ①⑤ 各1点
②③④⑥ 各2点

商業簿記 解説

[資料Ⅱ] 期末整理事項等（仕訳の単位：千円）

1. 商品売買に関する資料

(1) 甲商品

① 期中取引

a 仕入

(借方)	仕	入	93,720	(貸方)	支	払	手	形	11,250
				(貸方)	買	掛		金	82,470

支払手形：[Ⅱ] 3. (2)より

買掛金：解説3(2)参照

b 決算整理

(借方)	仕			入	4,200	(貸方)	繰	越	商	品	4,200	
(借方)	繰	越	商	品	4,420	(貸方)	仕			入	4,420	
(借方)	棚	卸	減	耗	費	510	(貸方)	繰	越	商	品	1,085
(借方)	商	品	評	価	損	575						

第1回目仕入単価(X)：93,720千円＝(12,300×X＋15,100×(X＋0.4千円))

$$93,720 \text{ 千円} = 12,300X + 15,100X + 6,040 \text{ 千円}$$

$$93,720 \text{ 千円} - 6,040 \text{ 千円} = 27,400X$$

$$\therefore X = 87,680 \text{ 千円} \div 27,400 = 3,200 \text{ 円/個}$$

期首商品数量：4,200千円÷(3,200円/個－200円/個)＝1,400個

期末商品単価(総平均法)： $\frac{4,200 \text{ 千円} + 93,720 \text{ 千円}}{1,400 \text{ 個} + 12,300 \text{ 個} + 15,100 \text{ 個}} = 3,400 \text{ 円/個}$

期末商品帳簿棚卸原価：1,300個×3,400円/個＝4,420千円

棚卸減耗費：(1,300個－1,150個)×3,400円/個＝510千円

商品評価損：1,150個×(3,400円/個－2,900円/個)＝575千円

(2) 乙商品

① 期中取引

a 仕入

(借方)	仕	入	22,980	(貸方)	買	掛	金	22,980
------	---	---	--------	------	---	---	---	--------

1回目：3,500個×30ドル×100円＝10,500千円

2回目：4,000個×30ドル×104円＝12,480千円

b 積送

(借方)	積	送	品	22,980	(貸方)	仕	入	22,980
------	---	---	---	--------	------	---	---	--------

c 販売

(借方)	売	掛	金	23,976	(貸方)	積	送	品	売	上	23,976
------	---	---	---	--------	------	---	---	---	---	---	--------

6,000個×(4,596円－600円)＝23,976千円

以上により前T/Bの積送品勘定22,980千円、積送品売上勘定23,976千円が判明する。

d 決算整理

(借方)	仕	入	18,384	(貸方)	積	送	品	18,384
------	---	---	--------	------	---	---	---	--------

売上原価：22,980千円× $\frac{6,000 \text{ 個}}{3,500 \text{ 個} + 4,000 \text{ 個}} = 18,384 \text{ 千円}$

2. 売上債権に関する資料

(1) 受取手形

受取手形

期首	14,500	取立	26,216
甲売上	(16,200)		
売掛金	9,500	前T/B	13,984

(2) 売掛金

売掛金

期首	31,900	回収	※ 解説1.(2)①c参照
甲売上	137,140	手形	9,500
委託売上※	23,976	現金預金	155,200
		前T/B	(28,316)

(3) 貸倒引当金

(借方) 貸倒引当金繰入 798 (貸方) 貸倒引当金 798

※ (13,984千円+28,316千円)×2%－48千円＝798千円

3. 仕入債権に関する資料

(1) 支払手形

支払手形

支払	19,500	期首	12,000
		甲仕入	11,250
前T/B	(13,050)	買掛金	9,300

(2) 買掛金

買掛金

支払		期首	18, 000
手形	9, 300	甲仕入	(82, 470)
現金預金	64, 850		
前T/B	49, 300	乙仕入 ※	22, 980

4. 為替予約

(1) ヘッジ対象(買掛金)

(借方) 為替差損 1,545 (貸方) 買掛金 1,545

買掛金：3,500個×30ドル+4,000個×30ドル＝225千ドル

為替差損益：225千ドル×109円－22,980千円(解説1.(2)①a)＝1,545千円(為替差損)

(2) ヘッジ手段(為替予約)

(借方) 為替予約 675 (貸方) 為替差益 675

為替差損益：(108円－105円)×225千ドル＝675千円(為替差益)

5. 固定資産の減価償却方法に関する資料

(1) 備品

(借方)	減価償却費	89	(貸方)	備品減価償却累計額	89
------	-------	----	------	-----------	----

$$\text{償却率} : \frac{1\text{年}}{6\text{年}} \times 200\% = 0.333$$

$$\text{償却保証額} : 900\text{千円} \times 0.09911 = 89\text{千円} \cdots \text{①}$$

期首減価償却累計額

$$\text{X4年3月末} : 900\text{千円} \times 0.333 = 300\text{千円} > \text{①} \quad \therefore 300\text{千円}$$

$$\text{X5年3月末} : (900\text{千円} - 300\text{千円}) \times 0.333 = 200\text{千円} > \text{①} \quad \therefore 200\text{千円}$$

$$\text{X6年3月末} : (900\text{千円} - 300\text{千円} - 200\text{千円}) \times 0.333 = 133\text{千円} > \text{①} \quad \therefore 133\text{千円}$$

$$\text{X7年3月末} : (900\text{千円} - 300\text{千円} - 200\text{千円} - 133\text{千円}) \times 0.333 = 89\text{千円} \geq \text{①} \quad \therefore 89\text{千円}$$

$$\therefore (900\text{千円} - 300\text{千円} - 200\text{千円} - 133\text{千円}) \times 0.334 = 89\text{千円}$$

$$\therefore 300\text{千円} + 200\text{千円} + 133\text{千円} + 89\text{千円} = 722\text{千円}$$

$$\text{減価償却} : (900\text{千円} - 300\text{千円} - 200\text{千円} - 133\text{千円}) \times 0.334 = 89\text{千円}$$

(2) 車両

(借方)	減価償却費	1,125	(貸方)	減価償却累計額	1,125
------	-------	-------	------	---------	-------

$$\text{償却率} : \frac{1\text{年}}{8\text{年}} \times 200\% = 0.250$$

$$\text{償却保証額} : 8,000\text{千円} \times 0.08909 = 713\text{千円} \cdots \text{①}$$

期首減価償却累計額

$$\text{X6年3月末} : 8,000\text{千円} \times 0.250 = 2,000\text{千円} > \text{①} \quad \therefore 2,000\text{千円}$$

$$\text{X7年3月末} : (8,000\text{千円} - 2,000\text{千円}) \times 0.250 = 1,500\text{千円} > \text{①} \quad \therefore 1,500\text{千円}$$

$$\therefore 2,000\text{千円} + 1,500\text{千円} = 3,500\text{千円}$$

$$\text{減価償却} : (8,000\text{千円} - 3,500\text{千円}) \times 0.250 = 1,125\text{千円} > \text{①} \quad \therefore 1,125\text{千円}$$

(3) 建物

① 資本的支出

(借方)	建物	30,000	(貸方)	仮払金	45,000
(借方)	修繕費	15,000			

$$\text{資本的支出} : 45,000\text{千円} \times \frac{10\text{年}}{(25\text{年} - 20\text{年}) + 10\text{年}} = 30,000\text{千円}$$

② 減価償却

(借方)	減価償却費	3,200	(貸方)	建物減価償却累計額	3,200
------	-------	-------	------	-----------	-------

$$\{(90,000\text{千円} - 72,000\text{千円}) + 30,000\text{千円}\} \div \{(25\text{年} - 20\text{年}) + 10\text{年}\} = 3,200\text{千円}$$

6. 有価証券に関する資料

(1) 売買目的有価証券

① A社株式

(借方)	有価証券運用損	50	(貸方)	売買目的有価証券	50
------	---------	----	------	----------	----

$$\text{評価損益} : 2,182\text{千円} - 2,232\text{千円} = \triangle 50\text{千円} \text{ (評価損)}$$

② B社株式

(借方)	売買目的有価証券	1,707	(貸方)	有価証券運用益	1,707
------	----------	-------	------	---------	-------

$$\text{取得原価} : 3,000\text{株} \times 22\text{ドル} \times 98\text{円} = 6,468\text{千円}$$

$$\therefore \text{前T/B売買目的有価証券勘定} : 2,232\text{千円} + 6,468\text{千円} = 8,700\text{千円}$$

$$\text{評価損益} : 3,000\text{株} \times 25\text{ドル} \times 109\text{円} - 6,468\text{千円} = 1,707\text{千円} \text{ (評価益)}$$

(2) 満期保有目的債券

(借方) 満期保有目的債券	255	(借方) 有価証券利息	42
		(貸方) 為替差損	213

満期保有目的債券の帳簿価額(前T/B)

X5年3月末: $18,000 \text{ドル} \times 4.26\% - 20,000 \text{ドル} \times 2\% = 367 \text{ドル}$ (ドル未満四捨五入)

X6年3月末: $(18,000 \text{ドル} + 367 \text{ドル}) \times 4.26\% - 20,000 \text{ドル} \times 2\% = 382 \text{ドル}$ (ドル未満四捨五入)

X7年3月末: $(18,000 \text{ドル} + 367 \text{ドル} + 382 \text{ドル}) \times 4.26\% - 20,000 \text{ドル} \times 2\%$

$= 399 \text{ドル}$ (ドル未満四捨五入)

$\therefore 18,000 \text{ドル} + 367 \text{ドル} + 382 \text{ドル} + 399 \text{ドル} = 19,148 \text{ドル}$

前T/B: $19,148 \text{ドル} \times 98 \text{円} = 1,877 \text{千円}$ (千円未満四捨五入)

償却額: $19,148 \text{ドル} \times 4.26\% - 20,000 \text{ドル} \times 2\% = 416 \text{ドル}$

$416 \text{ドル} \times 102 \text{円} = 42 \text{千円}$

為替差損益: $(19,148 \text{ドル} + 416 \text{ドル}) \times 109 \text{円} - (1,877 \text{千円} + 42 \text{千円}) = 213 \text{千円}$ (為替差益)

(3) 関連会社株式

(借方) 関連会社株式評価損	3,095	(借方) 関連会社株式	3,095
評価損: $100,000 \text{ドル} \times 25\% \times 109 \text{円} - 5,820 \text{千円} = \Delta 3,095$			

7. 新株予約券に関する資料

(借方) 現金預金	900	(貸方) 資本金	625
(借方) 新株予約権	350	(貸方) 資本準備金	625

新株予約券及び株式報酬費用の帳簿価額(前T/B)

期首残高: $1,400 \text{円} \times (1,500 \text{個} - 300 \text{個}) \times \frac{21 \text{ヵ月}}{24 \text{ヵ月}} = 1,470 \text{千円}$

権利確定: $1,400 \text{円} \times (1,500 \text{個} - 250 \text{個}) \times \frac{24 \text{ヵ月}}{24 \text{ヵ月}} - 1,470 \text{千円} = 280 \text{千円}$ (前T/B株式報酬費用)

新株予約権: $1,470 \text{千円} + 280 \text{千円} = 1,750 \text{千円}$ (前T/B新株予約権)

権利行使

払込金額: $(1,500 \text{個} - 250 \text{個}) \times 20\% \times \frac{1 \text{株}}{1 \text{個}} \times 3,600 \text{円} = 900 \text{千円}$

新株予約権の取崩: $1,750 \text{千円} \times 20\% = 350 \text{千円}$

資本金及び資本準備金: $(900 \text{千円} + 350 \text{千円}) \div 2 = 625 \text{千円}$

8. 費用と収益の繰延と見越に関する資料

(1) 費用の前払

(借方) 前払費用	690	(貸方) 販売費	480
		(貸方) 一般管理費	210

(2) 費用の未払

(借方) 販売費	226	(貸方) 未払費用	226
----------	-----	-----------	-----

(3) 収益の未収

(借方) 未収収益	408	(貸方) 受取利息	408
-----------	-----	-----------	-----

会計学 解説

第1問

1. 退職給付

<個別財務諸表>

年金資産				退職給付債務			
期首	250,000	年金給付	18,000	年金給付	18,000	期首	300,000
期待収益 (*2)	6,250	}	期末	期末	316,000	勤務費用	25,000
掛金拠出	20,000					利息費用 (*1)	9,000
未認識過去勤務費用				退職給付費用			
償却 (*4)	4,000	}	期首	勤務費用	25,000	期待収益 (*2)	6,250
期末	32,000			過去償却 (*3)	4,000		
				利息費用 (*1)	9,000	} P / L	23,750

*1 利息費用：300,000千円×3%＝9,000千円

*2 期待運用収益：250,000千円×2.5%＝6,250千円

*3 未認識過去勤務費用の償却：36,000千円÷(10年－1年)＝4,000千円

*4 退職給付引当金残高：316,000千円－258,250千円＋32,000千円＝89,750千円

<連結財務諸表>

退職給付費用		
勤務費用	25, 000	期待収益 6, 250
		過去償却 4, 000
利息費用	9, 000	P / L 23, 750

退職給付に係る負債		
年金資産	258, 250	退職給付債務 316, 000
B / S 負債	57, 750	

退職給付に係る調整累計額		
償却	4, 000	期首 36, 000
B / S	32, 000	

税効果

退職給付に係る調整累計額：32,000千円×(100%－40%)＝19,200千円

2. 圧縮記帳

(1) 2年前

① 取得及び補助金収入

(借方) 機械装置	64,000	(貸方) 現金預金	64,000
(借方) 現金預金	48,000	(貸方) 国庫補助金収入	48,000

② 圧縮記帳

(借方) 法人税等調整額	19,200	(貸方) 繰延税金負債	19,200
(借方) 繰越利益剰余金	28,800	(貸方) 機械装置圧縮積立金	28,800

税効果：48,000千円×40%＝19,200千円

圧縮積立金：48,000千円－19,200千円＝28,800千円

③ 減価償却

(借方) 減価償却費	16,000	(貸方) 機械装置減価償却累計額	16,000
(借方) 繰延税金負債	4,800	(貸方) 法人税等調整額	4,800
(借方) 機械装置圧縮積立金	7,200	(貸方) 繰越利益剰余金	7,200

償却率： $\frac{1}{8}$ 年×200%＝0.250

減価償却費：64,000千円×0.250＝16,000千円

圧縮積立金取崩：48,000千円×0.250＝12,000千円
 税効果：12,000千円×40%＝4,800千円
 圧縮積立金：12,000千円－4,800千円＝7,200千円

(2) 前期

(借方) 減価償却費	12,000	(貸方) 機械装置減価償却累計額	12,000
(借方) 繰延税金負債	3,600	(貸方) 法人税等調整額	3,600
(借方) 機械装置圧縮積立金	5,400	(貸方) 繰越利益剰余金	5,400

減価償却費：(64,000千円－16,000千円)×0.250＝12,000千円
 圧縮積立金取崩：(48,000千円－12,000千円)×0.250＝9,000千円
 税効果：9,000千円×40%＝3,600千円
 圧縮積立金：9,000千円－3,600千円＝5,400千円

(3) 当期

(借方) 減価償却費	9,000	(貸方) 機械装置減価償却累計額	9,000
(借方) 繰延税金負債	2,700	(貸方) 法人税等調整額	2,700
(借方) 機械装置圧縮積立金	4,050	(貸方) 繰越利益剰余金	4,050

減価償却費：(64,000千円－16,000千円－12,000千円)×0.250＝9,000千円 (e)
 圧縮積立金取崩：(48,000千円－12,000千円－9,000千円)×0.250＝6,750千円
 税効果：6,750千円×40%＝2,700千円 (h)
 圧縮積立金：6,750千円－2,700千円＝4,050千円
 圧縮積立金の残高 (g)：28,800千円－7,200千円－5,400千円－4,050千円＝12,150千円

3. 会計上の変更と誤謬の訂正

(1) 誤謬 (i)

減価償却費：60,000千円÷15年＝4,000千円 (j)

(2) 見積りの変更

期首減価償却累計額：60,000千円÷20年×5年＝15,000千円
 減価償却費：(60,000千円－15,000千円)÷10年＝4,500千円

第2問

問1

1 資本の推移 (単位：千円)

	20X1年期首	20X1年期末	20X2年期末
S社資本			
資本金	500,000		500,000
利益剰余金	200,000		280,000
評価・換算差額	50,000		80,000
評価差額	50,000		50,000
	↓ ×60% ↓ ×40%		↓ ×40% ↓ ×40%
	480,000 320,000		+44,000 =364,000
S社株式	600,000		非支配株主持分
差額	120,000	償却 12,000	償却 12,000
	のれん (借方)		残高 96,000

2 子会社の資産・負債の時価評価 (20X1年期首)

(借方) 土地	50,000	(貸方) 評価差額	50,000
---------	--------	-----------	--------

評価差額：250,000千円－200,000千円＝50,000千円

3 開始仕訳

(1) 20X1年期首

(借方) 資	本	金	500,000	(貸方) S	社	株	式	600,000
(借方) 利	益	剰	余	金	200,000	(貸方) 非	支	配
(借方) 評	価	・	換	算	差	額	等	50,000
(借方) 評	価	差	額	50,000				
(借方) の	れ	ん	120,000					

非支配株主持分：(500,000千円+200,000千円+50,000千円+50,000千円)×40%=320,000千円

のれん：貸借差額

(2) 20X1年期末 (のれんの償却)

(借方) 利	益	剰	余	金	12,000	(貸方) の	れ	ん	12,000
--------	---	---	---	---	--------	--------	---	---	--------

のれん償却額：120,000千円÷10年=12,000千円

(3) 20X2年期末

① 取得後剰余金の配分

(借方) 利	益	剰	余	金	32,000	(貸方) 非	支	配	株	主	持	分	32,000
--------	---	---	---	---	--------	--------	---	---	---	---	---	---	--------

非支配株主への配分額：(280,000千円－200,000千円)×40%=32,000円

② 評価・換算差額の振替

(借方) 評	価	・	換	算	差	額	等	12,000	(貸方) 非	支	配	株	主	持	分	12,000
--------	---	---	---	---	---	---	---	--------	--------	---	---	---	---	---	---	--------

非支配株主への振替額：(80,000千円－50,000千円)×40%=12,000千円

(4) のれんの償却

(借方) 利	益	剰	余	金	12,000	(貸方) の	れ	ん	12,000
--------	---	---	---	---	--------	--------	---	---	--------

のれん償却額：120,000千円÷10年=12,000千円

(5) 未実現利益

(借方)	利	益	剰	余	金	10,000	(貸方)	棚	卸	資	産	10,000
(借方)	流	動	負	債	20,000	(貸方)	当	座	資	産	20,000	

※ 利益剰余金：430,000千円(P社)+280,000千円(P社)－200,000千円(解説3(1))

－24,000千円(のれん償却)－32,000千円(解説3(3)①)－10,000千円(解説3(5))=444,000千円

問2

1 資本の推移(単位：千円)

20X2年期末				20X3年期末			
資	本	金	500,000			500,000	
利	益	剰	余	金	280,000	330,000	
評	価	・	換	算	差	額	80,000
評	価	差	額	50,000		60,000	
↓×40%				↓×40%			
364,000				12,000	↓×20%	△188,000	非支配株主持分
							= 188,000
				S 社 株 式	250,000		
				資本剰余金	62,000		

2 20X3年期末

(1) 取得後剰余金の配分

(借方) 利益剰余金 20,000 (貸方) 非支配株主持分 20,000
 非支配株主への配分額： $(330,000 \text{千円} - 280,000 \text{千円}) \times 40\% = 20,000 \text{円}$

(2) 評価・換算差額の振替え

(借方) 非支配株主持分 8,000 (貸方) 評価・換算差額等 8,000
 非支配株主への振替額： $(60,000 \text{千円} - 80,000 \text{千円}) \times 40\% = \triangle 8,000 \text{千円}$

(3) のれんの償却

(借方) 利益剰余金 12,000 (貸方) のれん 12,000
 のれん償却額： $120,000 \text{千円} \div 10 \text{年} = 12,000 \text{千円}$

(4) 未実現利益

① 期首商品

(借方) 利益剰余金 10,000 (貸方) 利益剰余金 10,000

② 期末商品

(借方) 利益剰余金 18,000 (貸方) 棚卸資産 18,000

(借方) 流動負債 25,000 (貸方) 当座資産 25,000

3 株式取得時の修正消去仕訳

(借方) 非支配株主持分 188,000 (貸方) S社株式 250,000

(借方) 資本剰余金 62,000

非支配株主持分： $(500,000 \text{千円} + 330,000 \text{千円} + 60,000 \text{千円} + 50,000 \text{千円}) \times 20\% = 188,000 \text{千円}$

資本剰余金：貸借差額

4 利益剰余金

500,000千円(P社) + 330,000千円(S社) - 200,000千円(問1) - 36,000千円(のれん償却)

- 32,000千円(問1) - 20,000(2(1)) - 18,000千円(2(4)) = 524,000千円

工業簿記 解説

<解説> (単位：円)

【本問のポイント】

第1問は、今日の標準原価計算の役割りをイメージして解答してほしい。

第2問の計算は、材料の投入が始点、平均的、終点で投入されている点に注意し、満点を取って欲しい問題です。製造間接費の差異分析は4分法を用いていますから、不働能力差異は操業度差異を意味しています。

第3問は正誤問題ですので時間をかけすぎないように注意してください。

第1問 解答参照

第2問

生産データ

仕 掛 品			
月初	0 個	完成	4,000 個
投入	4,500 個 (4,250 個)	月末	500 個 (250 個)

製 品			
月初	0 個	販売	3,800 個
完成	4,000 個	月末	200 個

() 内は完成品換算量

問1

仕掛品勘定の借方合計

借方合計は貸方合計と同額ですから、貸方の完成品原価と月末仕掛品原価で求める方が早く計算できます。

完成品原価：

$$\begin{aligned}
 \text{直接材料費} &: (@10,000 + @35,000 + @5,000) \times 4,000 \text{個} = 200,000,000 \text{円} \\
 \text{直接労務費} &: @3,750 \times 4,000 \text{個} = 15,000,000 \text{円} \\
 \text{製造間接費} &: @8,750 \times 4,000 \text{個} = 35,000,000 \text{円} \\
 \text{合 計} &= \underline{250,000,000 \text{円}}
 \end{aligned}$$

月末仕掛品原価

直接材料費

$$M-1 : @10,000 \times 500 \text{個} = 5,000,000 \text{円}$$

$$M-2 : @35,000 \times 250 \text{個} = 8,750,000 \text{円}$$

$$\text{直接労務費} : @3,750 \times 250 \text{個} = 937,500 \text{円}$$

$$\text{製造間接費} : @8,750 \times 250 \text{個} = \underline{2,187,500 \text{円}}$$

$$\text{合 計} = \underline{16,875,000 \text{円}} \quad (16,875 \text{千円})$$

借方合計 (貸方合計) : 完成品原価250,000,000 + 月末仕掛品原価16,875,000 = 266,875,000円
(266,875千円)

問2

材料受入価格差異

$$M-1 : (@2,000 - @2,300) \times 25,000 \text{kg} = \triangle 7,500,000 \text{円} \quad (\text{借方差異})$$

$$M-2 : (@1,000 - @1,200) \times 150,000 \text{kg} = \triangle 30,000,000 \text{円} \quad (\text{借方差異})$$

$$M-3 : (@5,000 - @5,100) \times 4,100 \text{缶} = \triangle 410,000 \text{円} \quad (\text{借方差異})$$

$$\underline{37,910,000 \text{円}} \quad (37,910 \text{千円})$$

材料数量差異

$$M-1 : @2,000 \times (5 \text{ kg/個} \times 4,500 \text{個} - 23,000 \text{kg}) = \triangle 1,000,000 \text{円 (借方差異)}$$

$$M-2 : @1,000 \times (35 \text{ kg/個} \times 4,250 \text{個} - 149,000 \text{kg}) = \triangle 250,000 \text{円 (借方差異)}$$

$$M-3 : @5,000 - (1 \text{ 缶/個} \times 4,000 \text{個} - 4,100 \text{缶}) = \underline{\triangle 500,000 \text{円 (借方差異)}}$$

$$\underline{\underline{1,750,000 \text{円 (1,750千円)}}}$$

$$\text{労働賃率差異} : (@1,500 - @1,530) \times 10,600 \text{時間} = \triangle 318,000 \text{円 (318千円) (借方差異)}$$

$$\text{労働時間差異} : @1,500 \times (2.5 \text{時間/個} \times 4,250 \text{個} - 10,600 \text{時間}) = 37,500 \text{円 (37.5千円) (貸方差異)}$$

$$\text{予算差異} : @2,000 \times 10,600 \text{時間} + 16,500,000 - 37,198,500 = 501,500 \text{円 (501.5千円) (貸方差異)}$$

$$\text{変動費能率差異} : @2,000 \times (2.5 \text{時間/個} \times 4,250 \text{個} - 10,600 \text{時間}) = 50,000 \text{円 (50千円) (貸方差異)}$$

$$\text{固定費能率差異} : @1,500 \times (2.5 \text{時間/個} \times 4,250 \text{個} - 10,600 \text{時間}) = 37,500 \text{円 (37.5千円) (貸方差異)}$$

$$\text{不働能力差異} : @1,500 \times (10,600 \text{時間} - 132,000 \text{時間} \div 12 \text{月}) = 600,000 \text{円 (600千円) (借方差異)}$$

問3

① 正

② 誤 材料数量差異は仕掛品勘定、製品勘定、売上原価勘定に配賦を行う。

③ 正 材料受入価格差異

$$M-1 \quad (@2,000 - @2,300) \times 200 \text{kg} = \triangle 600,000 \text{円}$$

$$M-2 \quad (@1,000 - @1,200) \times 1,000 \text{kg} = \underline{\triangle 200,000 \text{円}}$$

$$\underline{\underline{\triangle 800,000 \text{円 (800千円)}}}$$

④ 誤 材料受入価格差異の合計が1,720千円となるので、材料数量差異を加えると1,720千円よりも多額となる。

材料受入価格差異

$$M-1 \quad (@2,000 - @2,300) \times 5 \text{ kg/個} \times 200 \text{個} = \triangle 300,000 \text{円}$$

$$M-2 \quad (@1,000 - @1,200) \times 35 \text{ kg/個} \times 200 \text{個} = \triangle 1,400,000 \text{円}$$

$$M-3 \quad (@5,000 - @5,100) \times 1 \text{ 缶/個} \times 200 \text{個} = \underline{\triangle 20,000 \text{円}}$$

$$\underline{\underline{1,720,000 \text{円 (1,720千円)}}}$$

原価計算 解説

<解説> (単位：円)

【本問のポイント】

設備投資の意思決定の基本的な問題です。工業簿記と原価計算で40点は取りたいところです。法人税等の実効税率が36%となっていますので注意してください。

第1問

問1 資本コスト率 $6\% \times 60\% + \text{支払利子率 } 1.5625\% \times (1 - 36\%) \times 40\% = 4.0\%$

問2

第1案の第1年度末の税引後正味現金流入額

$$1,152,000 + 2,848,000 = 4,000,000$$

第1案

	購入時	1年度末	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末
減価償却費法人税節約額		1,152,000	1,152,000	1,152,000	1,152,000	1,152,000
純流入額		2,848,000	2,848,000	2,848,000	2,848,000	2,848,000
設備購入費	16,000,000					

$$\text{純流入額} : (@2,000 \times 4,000 \text{ 個} - 3,550,000) \times (1 - 36\%) = 2,848,000$$

$$\text{法人税節約額} : 16,000,000 \div 5 \text{ 年} \times 36\% = 1,152,000$$

第2案

	購入時	1年度末	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末
減価償却費法人税節約額		1,152,000	1,152,000	1,152,000	1,152,000	1,152,000
純流入額		2,336,000	2,624,000	2,944,000	3,200,000	3,328,000
設備購入費	16,000,000					

$$\text{純流入額} : T_1 (@5,000 \times 1,600 \text{ 個} - 4,350,000) \times (1 - 36\%) = 2,336,000$$

$$T_2 (@5,000 \times 1,600 \text{ 個} - 3,900,000) \times (1 - 36\%) = 2,624,000$$

$$T_3 (@5,300 \times 1,650 \text{ 個} - 4,145,000) \times (1 - 36\%) = 2,944,000$$

$$T_4 (@5,600 \times 1,650 \text{ 個} - 4,240,000) \times (1 - 36\%) = 3,200,000$$

$$T_5 (@5,600 \times 1,700 \text{ 個} - 4,320,000) \times (1 - 36\%) = 3,328,000$$

$$\text{法人税節約額} : 16,000,000 \div 5 \text{ 年} \times 36\% = 1,152,000$$

問3

第1案の内部利益率

$$16,000,000 \div 4,000,000 = 4$$

$r = 8\%$ の時に年金現価係数が 4 $(0.93 + 0.86 + 0.79 + 0.74 + 0.68)$ となるので 8.0% となる。

問4

第2案を採用した場合の第1年度売上高税引後純利益率

$$\text{税引後純利益} : (@5,000 \times 1,600 \text{ 個} - 4,350,000 - 16,000,000 \div 5 \text{ 年}) \times (1 - 36\%) = 288,000$$

$$\text{売上高税引後純利益率} : 288,000 \div @5,000 \times 1,600 \text{ 個} = 3.6\%$$

問5

第2案の正味現在価値

$$(2,336,000 + 1,152,000) \times 0.96 + (2,624,000 + 1,152,000) \times 0.92 + (2,944,000 + 1,152,000) \times 0.89 + (3,200,000 + 1,152,000) \times 0.85 + (3,328,000 + 1,152,000) \times 0.82 - 16,000,000 = 1,840,640$$

問6 解答参照

- ① 正 第1案の正味現在価値 $1,760,000 (4,000,000 \times 4.44 - 16,000,000) <$ 第2案の正味現在価値 $1,840,640$
- ② 正 第1案の内部利益率8%
 第2案の内部利益率7.98% (補完法より)
 7%の時の正味現在価値: $16,376,000$
 8%の時の正味現在価値: $15,993,920$
 よって、 $7\% + \frac{16,376,000 - 16,000,000}{16,376,000 - 15,993,920} \times 100 \approx 7.98\%$
- ③ 誤 第1案、第2案とも正となる。
- ④ 誤 減価償却費の総額に変化はないので、税引後正味現金流入額の総額に変化はない。
- ⑤ 誤 内部利益率法ではなく正味現在価値法で順位づけする方が適切である。

第2問

- ② $\{\text{販売価格} @ 11,000 - \text{製品A} @ 6,600 (\text{@} 9,000 - \text{@} 2,400) - \text{加工費} @ 3,000\} \times 500 \text{ 個} = 700,000$
- ③ $(\text{@} 9,000 - \text{@} 6,600) \times 500 \text{ 個} = 1,200,000$
- ④ $\{\text{販売価格} @ 11,000 - \text{製品A} @ 9,000 - \text{加工費} @ 3,000\} \times 500 \text{ 個} = \triangle 500,000$
- ⑥ $\{\text{販売価格} @ 11,000 - \text{製品A} @ 6,600 (\text{@} 9,000 - \text{@} 2,400) - \text{加工費} @ 3,000\} \times 500 \text{ 個} = 700,000$